



2025年4月30日
沖縄電力株式会社

「おきでんPXプロジェクト」の設置について

当社における喫緊の経営課題として、物価や労務単価の上昇などの影響により、資機材の調達や工事において従来よりも費用が大幅に増加するなど、物価高への対応が必要となっています。「調達力」の抜本的な強化およびDX等を活用した更なる効率化など、共通コストの低減に向けた取り組みを強化すべく、2025年1月に社長直轄のプロジェクトとして「おきでんPXプロジェクト」を発足しました。

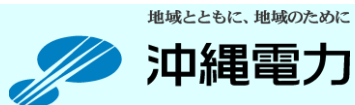
このプロジェクトでは、自ら工夫して仕事のやり方を変える『超・攻めの効率化』として調達活動の変革、コストの最適化、生産性の向上、更なるスキル向上など、前例にとらわれない変革に新しい発想で果敢に“Challenge”し、「持続的な成長」および「企業価値向上」に向けた経営基盤強化に、おきでんグループ一丸となって取り組んでまいります。

この取り組みを一過性ではない変革とし、持続的な成長につなげるために、今後も調達部門の強化等に積極的に取り組み、エネルギーの安定供給に努めてまいります。



別紙：おきでんPXプロジェクトの概要

以上



おきでん PX プロジェクト

PXの“P”は、

・調達 (Procurement) ・利益 (Profit) ・生産性 (Productivity)

・個々の能力・会社業績 (Performance) といった変革を表すとともに、

その他にも ・積極的 (Proactive) ・前進 (Proceed) ・進歩 (Progress) というプロジェクトに取り組む姿勢・心構えの意味も含めており、

『**収支改善に向けて、調達機能の強化、DX等も活用した生産性の向上に加え、積極的に、社員個々が前進、会社として進歩していく**』というメッセージを込めています。

※PXの“X”は、変革 (transformation) を指しています。

2025年度の主な取り組み



調達活動の変革

- ・調達部門の強化
- ・積算スキルの向上 など

コストの最適化

- ・サプライチェーンの最適化
- ・使用頻度・数量の最適化
- ・材料、仕様の最適化 など

生産性の向上

- ・業務の見える化
- ・DX等の活用 など

更なるスキル向上

- ・基礎ビジネススキルの向上
- ・デジタルスキルの向上 など



2026年度以降も見据えた経営基盤の強化

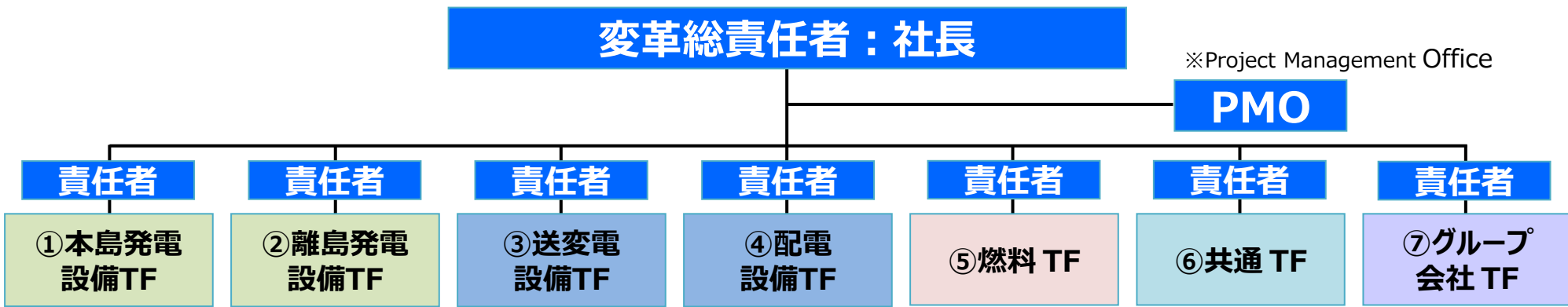
- エネルギーの安定供給
- 収益性の向上(超・攻めの効率化)
- DXの推進
- カーボンニュートラルへの挑戦



持続的な成長
企業価値向上

プロジェクト体制

- 社長直轄のプロジェクトとして、おきでんPXプロジェクトを設置し、7つのタスクフォース（TF）を立ち上げました。本島発電設備・離島発電設備・送変電設備・配電設備の各TF（設備系TF）では資機材等の調達、燃料TFでは燃料調達、共通TFでは共通コストの最適化や施策の展開、グループ会社TFではコスト最適化・生産性改善・外販拡大に関する施策を展開していきます。
- 4つの設備系TFでは、最適なコストによる調達に向けた「適正な価格を見極めるスキルの向上」などにより、調達活動の高度化を目指していきます。
- 燃料TF・共通TFでは、コスト最適化のための取り組みを洗い出し、迅速に実行に移すことで経営の効率化を図ります。
- また、グループ会社も含めて、ビジネススキル向上などに取り組むことにより、おきでんグループ一体となって業務効率化を図り、グループ全体の競争力を強化します。
- これらの取り組みを一過性ではない変革とし、持続的な成長につなげるために、おきでんグループ一丸となって取り組んでいきます。



変革に向けて限界を設けることなく「超・攻めの効率化」で前例にとらわれず新しいことに挑戦